

湘南フォーラム



大型事業の進捗状況とツインシティの整備状況などを問う
出村 光 議員

大型事業の進捗状況

問 新庁舎建設における最新の工事進捗状況を伺う。

総務部長 現在は、免震装置の設置などを行い、今年度末には、躯体工事が完了する予定である。平成29年12月末までに、全体の完成を目指している。

問 最低でも1000年は、持たせるべき庁舎であるが見解を伺う。

市長 多額の税金を使用しているので、行政サービスを提供しやすい庁舎でなければならぬ。しっかりとメンテナンスを行い、前の庁舎よりも持たせて効果が上がる建物にしたいと考えている。

問 新庁舎駐車場の建築概要と料金の検討状況を伺う。

総務部長 駐車場は、地上1階地下1階建て、駐車台数の合計は、2000台である。また、出庫車両の分散

声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動状況をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

問い合わせ
議会局 ☎21-8791

ツインシティ整備推進事業

問 現在の状況を伺う。

都市整備部長 昨年8月に組合が設立され、事業地の全地権者が組合員となり事業を推進している。現在は、より良好なまちづくりとなるよう議論が重ねられているが、一部からは、事業への反対や慎重な意見がある。区域全体の仮換地指定に対する審査請求をしている方には、個別の問題などについて、丁寧な説明や、協議を行い、理解が得られるようにしていきたい。

問 事業計画では、総事業費220億円の約38%に当たる83億737万円が公金であるが、チェック体制を伺う。

都市整備部長 組合からの交付申請により、県と市が審査を行い、交付決定する。組合は、完了実績報告を行い、県と市による完了検査を実施し、公金が支出される。国費は、会計検査院による会計検査が行われる。

このほかの質問

天沼地区「大型店舗」開業の影響
問 海岸エリア魅力アップの方向性から、待機児童対策、児童保育施設の公的施設への移行、旧大神環境事業センターの解体時期、駅周辺のパーキングメーター

地震災害に強いまちづくり
地域づくりを目指して



内堀 祐一 議員

問 木造住宅耐震化促進事業の概要と現状を伺う。

防災危機管理部長 耐震診断や耐震補強設計、耐震改修工事に対する補助制度である。熊本地震発生から問い合わせが増加し、5月に行った住宅耐震相談会では、耐震診断士を増やし個別相談に当たった。旧耐震基準の木造住宅の所有者に、耐震化に関する情報提供や普及啓発を一層進めていく。

問 災害時の物流の官民連携はどうなっているか。

防災危機管理部長 食料などの物資は、市保有車両のほか、一般社団法人神奈川県トラック協会などの協定締結事業者の車両により搬送する。熊本地震では、各地からの物資が自治体の集積拠点に到着していたが、各避難所へ届くのが遅れた

市民病院の運営

問 新館では災害時の運営は、どのようなものか。

市民病院事務局長 新館は、大地震が起きても内部破損をできるだけ防ぎ、災害拠点病院として医療が継続できるように耐震構造となっている。ライフラインが途絶えた場合は、自家発電装置

このほかの質問

公営住宅のコミュニティ形成、職員

湘南フォーラム
所属議員



小泉 春雄 議員



山原 栄一 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

教育民生

議案3案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は採択すべきものと決定しました。

○議案第51号 地方税法第314条の7第1項第4号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例の一部を改正する条例

問 条例で定める特定非営利活動法人に新たに2団体を指定するが、経緯と市民への制度の周知方法について伺う。

答 指定制度について、平成27年11月に対象の団体へ通知を出したところ、今回の2団体から申請があった。市民へはホームページや広報などを通して周知していく。

○議案第58号 平成28年度平塚市

一般会計補正予算

問 戸籍住民基本台帳費の戸籍及び住民基本台帳事業で、個人番号カード交付臨時窓口に係る労働者派遣委託の費用を計上しているが、交付状況と補正理由を伺う。

答 カードは28年6月13日現在、1万2,728枚、申請数の47.4%を交付している。当初予算で4月から6月までの費用を計上しており、まだ交付が続いているため、補正で7月から11月までの分を計上した。

問 美術館費の魅力ある美術展覧会事業について、展覧会開催のための助成金を活用するが、使途を伺う。

答 民間などが実施する助成金の交付が決定し、展示内容の充実や収集返却費用、ポスターの作成、会場施工などに充てる。

都市建設

議案3案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第55号 平塚市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

問 本市は、消防団員等公務災害補償等共済基金に加入しているが、条例改正により、消防団員等に不利益となることはないか。

答 障害厚生年金等の支給における調整率を全て上げており、共済基金も同様の改正を行っている。不利益となることはない。

問 この制度において、消防団員等が退団した場合の補償はどうなっているか。

答 本条例で、消防団員等として受傷し、認定を受けた場合は、退

団後も継続的に補償されることとなっている。

○議案第58号 平成28年度平塚市一般会計補正予算

問 消防施設費の消防署出張所等整備事業について、神田出張所が今年10月に完成予定であるが、今までと違う点は何か。

答 化学消防車に直接注入可能な薬剤タンクや断水などに備えた水道管に直結の貯水槽を整備する。また、ホースタワー兼訓練塔を設置し、実践的な訓練ができる。

問 神田出張所は本市北部に位置するが、近隣市町との災害協定はどうなっているか。

答 神奈川県下消防相互応援協定に基づき応援体制を築いている。大神地区では、厚木市や伊勢原市、寒川町などから出場がある。